

西脇市教育委員会会議録

令和6年10月臨時会

令和6年10月30日

西脇市教育委員会

西脇市教育委員会会議録
令和6年10月臨時会

- * 定例会招集方法
文 書
- * 定例会開催年月日
令和6年10月30日
- * 開催場所
大会議室
- * 開会及び閉会時刻
開会 午後2時00分
閉会 午後3時45分
- * 議事日程
別紙議事日程のとおり
- * 本日の会議に付した事件
日程第1 協議第2号 西脇東中学校・黒田庄中学校の統合校の活用施設について

* 出席委員
 教 育 長 遠 藤 一 博
 委 員 岸 本 みのり
 委 員 柴 垣 美 紀
 委 員 藤 尾 寛
 委 員 和 多 眞 乗

* 欠席委員及び欠員
 な し

* 議場に出席したものの職氏名
 教 育 管 理 部 長 高 橋 芳 文
 教 育 創 造 部 長 足 立 英 則
 学習環境規模適正化推進担当次長 鈴 木 成 幸
 教 育 委 員 会 参 事 竹 内 誠
 生 涯 学 習 課 長 長谷川 広 幸
 学 校 教 育 課 長 衣 川 正 昭
 学校教育課主幹兼教育研究室長 宮 下 晋 一
 学校教育課青少年センター所長 小 林 賢 也

* 会議録作成者の職氏名
 教 育 管 理 部 長 高 橋 芳 文

令和6年10月西脇市教育委員会臨時会

議 事 日 程

10月30日 午後2時開会 大会議室

日程	議案番号	件 名
第1	協議第2号	西脇東中学校・黒田庄中学校の統合校の活用施設 について

西脇市教育長 遠 藤 一 博

◎教育長

前回の10月22日に開催されました教育委員会の定例会の協議の第2号、西脇東中学校・黒田庄中学校の統合校の活用施設についての継続協議となりますので、前回承認いただいたとおり公開とし、本日の会議録署名につきましても、私から指名させていただきます。岸本委員、そして和多委員、よろしくお願いいたします。

なお、事前に、報道機関より取材の申し出がございましたので、撮影を許可しておりますことをお伝え申し上げます。それでは、これから協議に入って参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

◎教育長

日程の第1、協議第2号、「西脇東中学校・黒田庄中学校の統合校の活用施設について」を議題といたします。

前回は、資料の10番の項目まで、つまり、大項目であります教育施設と通学に関する意見交換を行って参りました。

今回は、11番以降の評価項目、つまり、大項目であります立地に関するところから協議を行いたいと思います。資料の準備はよろしいでしょうか。

それでは、11番の項目からであります。

これは地域意向調査の設問6の11と合致する項目であります。 「鉄道駅など公共交通が利用しやすい立地であること」という文言の項目から、意見交換を行いたいと思います。「鉄道駅など」とありますから、JRのことばかりではなくて、様々な交通手段を想定した協議をお願いしたいと思います。

ではこの件につきまして、ご意見をよろしくお願いいたします。

○委員

私はJRより通学バスを進めていただきたいと思います。

時間も不確定であり、JRが天候などにより、よく停止することもあります。保護者の方の安心や、安全に通えるという観点においても、やはりバス通学が望ましいと思います。

◎教育長

他の委員はどうでしょうか。

○委員

私も前回通学の件で述べさせていただきましたが、やはりバス通学が1番適切であると考えております。JRなどは、活用施設がどちらかに決まってから考えていく方がいいと思います。

◎教育長

今バス通学の意見が出ています。通学手法の判断について、事務局から、もう一度確認をいただいてよろしいですか。

○事務局

遠距離通学の学生に対しては、通学バスによる支援を予定しており、具体的にはスクールバスの無料運行を考えております。

公共交通機関を使う場合は、定期券購入費全額補助を検討しております。通学支援対象につきましては、現状国が示している通学基準があり、通学時間が片道概ね1時間超。通学距離が片道概ね6キロ超となっております。学校の統合により通学方法に変更が生じる生徒を対象に、通学支援をする予定としております。

◎教育長

最終的には、開校準備委員会の協議対象になるということによろしかったでしょうか。

○事務局

はい。スクールバスについて、ルート等もございますので、この辺りは開校準備委員会で決めていきます。

また、スクールバスとJRは併用利用ではなく、どちらか選択していただいて、補助の対象等も確定させ、スクールバスに乗っていただく方も決めていきます。

◎教育長

先ほど事務局が説明しました内容を、これまでお伝えをしているところであります。他、この件についてはいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは保護者や地域の方の意向を確認しながら、今言いましたような選択肢の中で考えると、バスに関するステーションや、JRに関するステーションの位置関係は、開校準備委員会で細かく協議をされるということです。

それから運行ルートについても、示しましたのは1つの案であり、実態をご存じである地域の方々と協議しながら、今後決めていくという流れになると思います。

それでは11番に関してはこれでよろしいでしょうか。

では次の12番の協議に移ります。

この12番に関しましては、資料の中でも、網掛けの色がついている部分であり、地域意向調査において、保護者の方、地域の方、そして全体のご意見としても、非常に要望が多く出ていた項目であります。

それでは、12番「災害等のおそれが少ない安全な環境であること」についての意見交換をお願いします。

○委員

この項目はアンケートにおいても、やはり重要視されているポイントだと思っております。

どちらの施設も、区域に関しましては、災害警戒区域に入っていないと確認させていただいたところですが、しかし、洪水による浸水被害想定区域、想定最大規模ということを確認させていただきますと、黒田庄中学校西側の県道から、川沿いに関しましては、少し浸水被害想定区域内に該当しています。西脇東中学校につきましては、近接しておりませんので、問題ないのではないかと思います。

また、土砂災害警戒区域を確認させていただきますと、黒田庄中学校は南側の山に関しまして、土砂災害警戒区域、並びに特別警戒区域、山腹崩壊危険区域などの区域が近接しています。

西脇東中学校に関しては、問題ないのではないかと思います。

それからハザードマップにはないですが、ため池浸水想定区域につきましては、両校とも該当しており、西脇東中学校に関しましては北側のため池が、黒田庄中学校に関しましては、東側の山の方からのため池が関わっているのではないかと思います。

こうして見ると、災害警戒区域には入っていないけれども、より近接している学校は統合校として避けた方がよいのではないかと思います。

◎教育長

他いかがでしょうか。

○委員

子育て中の親の立場として、やはりこの項目は、大事なところだと思っております。

自分なりにハザードマップを確認させていただいたり、両校の近辺を見させていただいたりしたときに、もし中学校が何かあったら、どこへ避難するのだろうかということについて気になりました。

◎教育長

他いかがでしょうか。

○委員

この件に関しては、どちらになっても、必ず安全性は守られなければいけないと思いますので、保護者、地域の方が十分に安心できるようにしていただきたいと思っています。

◎教育長

ハザードマップがここに 있습니다。これはもうご覧になっていますか。それぞれ今おっしゃいました意見の背景にある状況は、またご覧いただければと思います。

今学校が避難所になっているというのも、各委員ご存じだと思いますが、黒田庄の校区に 있습니다 3つの学校の避難の対象と、それから指定避難所の指定について確認します。

まず黒田庄中学校は、風水害と地震の指定避難所、楠丘小学校は風水害と地震、これは両方同じ状況です。桜丘小学校に関しましては地震に関する指定避難所に指定されている学校であります。

西脇東中学校区になります。比延小学校は、風水害、地震の指定避難所。双葉小学校は地震に関する指定避難所となっております。

そして西脇東中学校に関しましては、これはいずれも指定避難所にはなっておりません。大規模災害時に、自衛隊の活動拠点の指定場所になっています。この件について、今回の統合で、もし変更する必要があるれば、可能であるというようなことを聞いておりますが、何かこの件について、補足説明がありましたら、事務局からお願いします。

○事務局

防災担当としましては、防災マップに書いてあるとおりの見解であり、両校の敷地内に関しては、安全性に差はないと確認しています。

◎教育長

異常気象ということが最近よく言われておりまして、色々な地域で色々な災害が生じている実態を皆さんご存じでありますので、この項目につきましても、1つの視点として、また意向調査回答の上位項目ということで、確認をお願いします。

他にご意見はよろしいですか。

それでは続いて13番の項目についての協議を行います。13番は「小学校・中学校間の連携等を見据えて、小学校等との距離が近いこと」という項目としてアンケートを行いました。

この件につきまして、これからの教育とも絡むわけではありますが、ご意見がありましたらお願いします。

特にこの件については大丈夫でしょうか。

あとでご意見があればお願いします。

では続きまして、14番「部活動の地域移行等を見据えて、他の中学校や公共施設（文化施設、運動施設など）との距離が近いこと」という項目であります。この件に関しまして、何かご意見等ある方おっしゃって

いただけますか。

中学校になりますので、部活動に関する関心は、前の統合懇談会の折でも、部活動が将来どうなるのかということについて、意見を聞きたいというご意見もありました。

本年度、部活動に関する地域移行の検討会議を立ち上げまして、今会議が行われている最中であり、確定には、まだ至っていません。

事務局から今の状況で何か参考になることがありましたらお願いします。

○事務局

検討会議につきまして、今年度4回予定しておりまして、2回まで終わったところでございます。3回目につきましては11月28日に開催予定としておりまして、その場でも色々のご意見をいただきたいと思っております。

具体的に決まったわけではありませんが、まず休日の部活動から移行していきたいという思いを持っております。

◎教育長

休日の部活動から地域移行を検討していることについては、新聞にも各地の推進状況の記事が載っており、お知りになっている部分もあるかもしれませんが、平日の部活動の地域移行も見据えて、段階を設けて検討しているところであります。この件についても後でご意見がある場合は、おっしゃっていただくことにします。

それでは、15番「教育活動や学校行事で活用できる地域資源（史跡、産業など）が近くにあること」という項目であります。

この件につきましてご意見はいかがでしょうか。

○委員

周辺施設や、教育活動の学校の分野においては、天神池スポーツセンターについて、西脇東中学校の方が少し近いですが、車で移動するとしたらその差は数分であるため、特に施設の活用に関して大きな差はないと感じております。

○委員

この項目の「近くにあること」という部分に関して、近くでなくても、西脇市には地域資源がたくさんありますので、利活用できていない地域資源は、未来の子どもたちのために、もっと利活用していただきたいという思いを常に持っております。

◎教育長

具体的に、例えばこういう施設の利活用がもっと教育現場でなされる

ことが重要ではないかというような意見はありますでしょうか。

○委員

私が常日頃から申し上げているのは、文化施設、具体的には岡之山美術館、地球科学館の利活用があまりできていないと感じているので、もっと活用して、子どもたちにいろいろな学びの場を提供していただきたいと思っています。

◎教育長

施設というと建物のイメージがありますが、学校教育の中では、自然環境等も学習の教材になることが多くあります。

学校教育課から学校外の教育資源について、今の学習活動の現状をお話いただけますか。

○事務局

市内全ての小学校で行っていますが、1番多いのは環境体験学習です。例を挙げますと、西脇小学校が地域の田畑、それから双葉小学校の里山での体験など、地域の方と密接に関わりながら学習活動をしております。教育課程上、時間を割いているのは、小学校が多いです。

◎教育長

里山、稲の栽培等も、地域資源として教育素材になることが多くありますし、地域の文化遺産や重要文化財についても地域学習等の素材として、学校現場は使っております。そういう意味で、多くの教育素材が両校区にはあるという認識を私自身も持っております。スポーツ関係の施設も同じでありまして、両地区にあるということでございます。よろしいでしょうか。

それでは、次16番ですが、「市中心部に近く、公共施設などの都市機能を利用しやすい位置に学校が立地していること」という項目です。

この件について、右にあるとおり割合はこのような状況ですが、ご意見をお持ちの方ありますか。

○委員

都市中心部に近いから利用しやすいということではなく、中心部ではなくても、利用できるような働きかけが必要でないかと私は思っています。

◎教育長

中心部でなくても移動手段を考慮すれば問題ないということですね。

他にございますか。よろしいでしょうか。

それでは次に17番へ移りたいと思います。

17番は「市中心部に近い場所だけではなく、市域にバランスよく（地

理的に偏在なく) 学校が立地していること」という項目です。この件についてご意見がある方はおっしゃっていただけますか。よろしいでしょうか。これも現状の中での対応ということになると思います。

それでは次に18番コストの部分であります。「改修等の整備費用や通学支援等に係る費用などのコストが抑えられること」という項目であります。この件についてご意見がある方はお願いします。

○委員

1番いいのはコストが抑えられることですが、コストを抑えたことによって、活用施設が不十分なものにならないようにお願いしたいです。

◎教育長

活用施設に対して必要なものはコストをかけるべきという意見であります。既存施設も同じであり、他の小中学校も含めてであります。他いかがでしょうか。

○委員

統合のコスト面では、両中学校とも大体同じくらい経費がかかってくるとお聞きしておりますが、両中学校とも、活用の仕方によってはもう少しコストを抑えられるのかなと個人的には感じております。

黒田庄中学校の方が、校舎が大きくて、そのまま使える分余裕があって、準備時間の面で余裕があり、費用面ももう少し抑えやすいのではないかなと感じております。その分、2拠点化を考えていく余裕ができるのかなと感じております。

◎教育長

時間が抑えられるというのは改修にかかる時間がということですね。

○委員

税金が使われますので、コストを抑えることは望んでおりますけども、子どものことですので、しっかりお金をかけていただきたいとも望んでおります。通学支援についても、子どものことですので、しっかりと予算を取っていただきたいと望んでおります。

◎教育長

安全等の必要な部分については、手厚くするという趣旨になるのでしょうか。

○委員

コスト面について、黒田庄中学校を改修する方が、少しコストダウンを図れる可能性を秘めていると思います。

税金を投入するので安い方がいいとの考え方も当然ありますが、2拠点化した後の施設活用を考えると、西脇東中学校の増築校舎を建てた場

合、施設の転用が少し容易に考えられるのではないかと思います、費用対効果も得られるのではないかと思いますという気もしました。

◎教育長

要するに、統合後の活用がしやすいという点も考慮すべきということですね。

改修の件につきましては、これまでも統合懇談会等で説明をしてきた部分であります。

よろしいでしょうか。

それでは、今いくつかの視点を出していただきました。各委員で異なる視点があったかと思しますので、確認をお願いします。

それでは19番へ移らせていただきます。19番は「統合前の生徒数など現状の学校規模が大きいこと（規模が大きい学校を統合校として活用すること）」という項目についての意見交換であります。

この件についていかがでしょうか。

○委員

施設の大きさとかではなく、学校学習環境規模適正化推進ということで、適正という言葉を、私は重要に思っています。

◎教育長

適正な規模の考え方についてもう少しご意見いただけませんか。この場合は生徒数のことについて言及している部分であります。

○委員

今後、年少人口が減少するということが、今回の推進計画の1つの問題でありますので、大きい、広い、狭い等ではなく、今後何十年と人口が減ることが明確にわかっているため、それに対しての適正な規模が重要であると思っています。

◎教育長

これからの人口推移を考慮するという視点であります。

この大きさという点については、アンケートの中にもありましたように、狭いことにストレスを感じるという意見もございましたし、逆に規模にとらわれず、例えば、スペース管理、施設管理についての視点を挙げておられる意見もございました。

黒田庄中学校の方が、現生徒数は少し多いですし、これからの展望も、前回のアンケート資料の1番でありますとおり、黒田庄中学校が少し多い状況にあります。

こういう状態で、統合により2学級が形成され、将来的に40人学級が35人学級になるとか、いろんな制度の関係はあるかもしれませんが、こ

れを持続していくことを、市の施策とあわせ、それぞれの中で維持して増やしていくことに繋がれば、こうした統合校の年数を延ばせる可能性もあるわけであります。

他によろしいでしょうか。

それでは、19番の項目につきましてご意見がありましたら、また加えていただければと思います。

それでは、次の「その他」の部分、この項目の20番目の最後になりますが、この中で、もし何かこういう視点とか、こういう部分について協議を行いたいようなことがございましたら、おっしゃっていただけませんか。

○委員

この度は両校の施設学校周辺環境なども何度か訪問させていただきました。どちらも良いところ、改善しなければいけないところがあるのも確認いたしました。

そんな中で私がこれからの学校が大切にしないといけないと思うところは、やはり将来の教育ビジョンだと思います。

西脇市の教育振興基本計画の委員もさせていただき、人間磨きの教育というのが今年から5年間の重点目標の命題になっております。将来の教育ビジョンをしっかり示していくことで、今回の統合が、未来の子どもたちにとって、明るく前向きなものになると思っています。

今年の12月に西脇市に平田オリザさんが来られます。私は去年その講演会に参加させていただいて、日本はクリエイティブな授業が本当に少ないとおっしゃっていました。

学力向上のためには、演劇などの芸術に触れることがとても大切だと言われていました。西脇市は自然とアートのまちづくりが可能であると私は思っています。市内にあるたくさんの文化施設をもっと利活用していただいて、子どもたちに、アートと自然が絡んだ教育をどんどん受けさせてあげたいというのが私の希望であります。

教育振興基本計画の重点目標2に、西脇市がまるごとつながりという文章があり、地域住民、企業、関係団体が主体的に繋がって子どもたちの教育を支えていくことが必要と書かれているので、平田さんや、いろんな資料をいただいた中にも、メンタルトレーナーの方のお話、ビジョントレーニングのこと、脳科学の宮口さんの講演などに通ずることを西脇市も積極的に取り入れていただきたいと思います。この統合という変化をチャンスに変えて、一緒に統合するならこういうことを子どもたちに提供できるという教育ビジョンを、しっかり出していただきたいと思います。

います。

そうすると、皆さん数年後に統合してよかったな、とっていただけるのではないかと私は思っています。

◎教育長

西脇市の教育ビジョンについてのお話への提案であります。

こういうものをしっかりと提示することによって、この統合そのものへの考え方や、その先にある、何か希望や期待などを持っていただいて理解を深めていただきたいということを背景に、おっしゃっていただいたと思います。

それでは事務局の方で、西脇市の学校では統合によって、こういう教育を受けることができるという展望を説明していただけますか。

○事務局

私から簡単に述べさせていただきます。その前に、地域と触れ合う内容についてですけれども、地域とはまず小学校でも中学校でもゲストティーチャーということで地域の方に来ていただいて、播州毛鉤など、いろんなものを見せていただいている実情がございます。

また、中学校ではトライやるウィークで非常にお世話になっておりますし、中学校1年生では地域に触れようということで、1年生がグループに分かれて、地域を巡り、いろんな神社や仏閣などを見て回るような活動をしております。その辺りは、地域との触れ合い、コミュニケーションを多々取れているかなと思います。

————— [説明…記述省略] —————

◎教育長

ありがとうございます。いろんな言葉も出てきましたので、理解いただけた部分ばかりかどうか心配ではありますが、いろんな連携力を強化すること、それ以外に今進めている教育のDX化の促進、これはタブレットの活用ということではありますが、令和5年度は黒田庄中学校区の学校が文部科学省の指定を受け、リーディングDXスクール事業を市内で、定着を図ってきた部分がございます。本年度は、2年目の国の指定を受けながら、西脇中学校区でこれを進めることで、市内全域に拡大をしていくということでもあります。

幾つか単語も出ましたが、こういう新たな教育の仕組みというものを構築して、施設は小学校中学校分離の状態からスタートしていくわけですが、順次適正化の推進計画に基づいて小学校を2校から1校にしていくという計画を表している図です。

西脇中学校区は、西脇小学校と日野小学校の2つが記載されています

が、この2校に関しましては、生徒数がまだ維持できる規模にあるということで、令和12年ではなく、もう少し後で、人口の推移を見ながら考えていくという想定になっています。

就学前教育と高校教育との連携強化を図っていくことを目指しています。今年、西脇工業高校と、連携強化の覚書を交わして、特に工業が持つ理系の学びのノウハウ、ものづくりへの興味関心を喚起することを進めており、この夏も小学生たちが西脇工業高校でいろいろなものづくりの体験教室に参加をさせていただき取組が始まっています。他の高校との連携もこれから拡大していければということを考えています。

今、いくつか説明を受けましたが、今の説明の中でお尋ねになりたいことなどありましたらお願いします。

○委員

今見せていただいた教育ビジョンも大切だと思うのですが、何をするのかあまり見えないので、今後の統合に向けて、具体的でもっとわかりやすく、はっきりしたビジョンを見せてほしいと思います。

◎教育長

1つずつ、具体的に推進をしています。中身は、例えば先ほどの英語などの外国語に関して言いますと、小学校・中学校の話だけではなくて、先日みらフェスの中で、教育委員会が地域の子どもたちを対象に出展したいろんな取組もありました。ご紹介いただけますか。

○事務局

みらいえのフェスティバルの中で、ALTの先生に講師を務めていただきまして英語に触れ合えるということのを授業以外で、地域に出て地域の子どもたちが学ぶ経験をしています。また、違う学校の友達とも一緒に英語を使ってコミュニケーションを行うことも1つの狙いとしております。

◎教育長

当日そのブースに幼稚園児や認定こども園の子どもたちの年齢から、小学生などいろんな子たちが来てくれて、ALTの先生と色々な会話をしたりゲームをしながら、外国語に触れる体験を楽しむという具体的な活動を通じて裾野を広げる行事でした。そういったものも、この中の1つの取組として始まっていこうとしています。

この統合というものを1つのタイミング、機会として、学びの枠づくりをしっかりと進めていくことが望ましいのではないかとのご意見として承っています。他いかがでしょうか。

○委員

全体的な意見ですが、最近核家族が進んできまして、特に兄弟の数も1人2人というご家庭が多く、大家族で育って学ぶという機会はほぼないのが現実だと思います。そういう意味では学校生活でも、多人数で多様性や協調性をしっかり学ぶ機会はますます重要になってきていると最近考えています。

それもただ多ければすべてよいかというと、そうでもないと思います。ある程度の人数で、よい競争や刺激を受けることが、社会に出る前に、大切かなと思っております。

それと同時に、先ほど教職員の働き方というのはやはりしっかり見直していく必要があります、時間的余裕はどの職業においても大事だと思っていますので、その確保というのは重要だと思っています。

先ほど委員がおっしゃられたビジョンという意味では、私は本当に大事なことだと思いますし、もう1つは各先生方が研鑽して、今もそういう活動をされているのは十分知っておりますが、先生方がこの地域にはこういう教育がいいよという、実際に教えておられる先生方が自分たちで考えて、1つ1つ作り上げていくような機会をできるだけ設けていただき、それを教育委員会ができるだけ後押しできるような環境があれば、地域独特の教育というものが深まっていくように思います。

そういう意味では統合というのはもちろん必要になってきますし、その先のことを考えると、教育のビジョンと言っていましたが、私が思うのは、たくさんの小さなテーマがあり、それを1つ1つみんなでクリアしていくような教育現場になればいいなと思います。

◎教育長

統合等を1つのきっかけとしてこれからの教育をどう作り上げるかというご意見でありましたが、先生の立場について、委員からお話が出ています。教職員の働き方改革や、先生の心のゆとりと申しますか、子どもと向き合うために力を発揮いただく環境もこの機会に一緒に見直すという提案だと思いますが、この件についてご意見のある方はいらっしゃいますか。

○委員

私も他の委員が言ったように、先生の働き方の環境というのが直接子どもたちにもかなり影響すると思うので、先生方のマンパワーを高めるためにも、この統合は必要だと思います。できるだけ先生にも働きやすい環境で、子どもたちの悩みや問題にもきちんと向き合える時間と、先生が主体的に動けるような時間の余裕を確保できるようになればいいなと思います。

◎教育長

そういう環境を作ることも子どもにとっての教育的な環境であるということでしょうか。

他委員の方どうでしょうか。

○委員

先生の働き方ということで、子どもは先生との信頼関係があってこそ、学校生活が充実して、学力も伸びていくと思います。その先生が忙しすぎて手いっぱい、子どもたちの接し方がおろそかになり、学びにも影響をしてくれているのが現実です。

私はできるだけ早い段階で統合し、先生の働き方改革を進めていただき、子どもたちのために、西脇市全体を変えていっていただきたいと願っております。

○委員

私も皆さんと同じになりますが、3拠点化を早く行うということは大事だと思っております。

2拠点化の意見もアンケートにありましたけれども、今、非正規の先生がたくさんいらっしゃるって、毎年、先生の採用がかなり厳しい状況にあると思います。早く統合してしっかりと先生を確保するということが、教育機会の均等を図り、働き方を改善できると感じております。

それがきちんとできてはじめて、子どもに対していい影響があると感じていますので、子どもたちの教育機会が失われることがないように改善を図っていったらよいと思います。

◎教育長

冒頭にも言いましたが教員の確保について、今非常に厳しい状況にあることをお伝えしました。今のような状態で、教員を安定的に確保することが非常に大事であるというご意見と思っております。教員の確保に対しての市の現状、または取組について説明がありましたらお願いします。

○事務局

年度当初に学級担任を担当する先生がなかなか見つからないというのが全国的に問題となっていますが、西脇市の場合今年度4月時点で、学級担任の先生がいないという状況は免れております。

ただ、兵庫県から定数以外に加えて配置される加配の教員に関して、年度当初なかなか臨時講師の先生が見つからず、配置できないということがありましたが、年間を通して、絶えず臨時講師を探している状態で、学校によっては年度途中で配置できたという事例もございます。この件に関しましては、まだまだここ数年で解決できるというものではない状

況です。

◎教育長

今も探している状況にあるということですね。働き方改革では勤務時間が話題になるんですが、今の市内の教職員の勤務時間についての話はできますでしょうか。

○事務局

概ね45時間をオーバーしている者で比較的多いのが、部活動のある中学校の現場の先生方です。

小学校の方に関しましては、多くの学校が、教師の働き方改革の中で時間を工面し、教育課程の工夫をすることで、少しずつではありますが、先生方の超過勤務は少なくなっています。中には、突発的な生徒指導事案で夜間の対応などが出た場合は、どうしても超過勤務が増える時期はありますが、概ね小学校では減少傾向にあると思います。

中学校はやはり部活動との関連で、どうしても超過勤務が多い状況です。

◎教育長

市内の現状として、教員の確保や勤務時間の関係のお話をいただきました。環境の整備を急ぐという意見として聞いていますが、教員の働き方改革の問題や教員の確保については、今考慮いただいた意見以外に何かありましたらお願いします。

では今、その他の項目を分けることがいいのかわかりませんが、1つは将来の教育ビジョン、もう1つは教員の働き方改革や教員の確保という視点として、その他項目として、話を継続しているところではありますが、他にその他の項目として伝えておきたいことがありましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

先ほど、文化芸術など子どもを含め、大人の幸福感というものを高めるようなものを、市の特色として打ち出すことも考えていってはどうかということ、更には、これから学力そのものを高めていく、基礎的な学力をしっかりと身につけていただくような仕組みをつくり上げることにしても、先日の地域意向調査結果等説明会でも御意見をいただきました。

それ以外にも子どもたちが多様な力をつけるために、義務教育段階の子どもたちにおいて、様々な体験や芸術文化などに触れる経験をさせてやるのが大事なのではないかという意見をいただき、整理をしていますが大丈夫でしょうか。

○委員

DXも大事ですが、幼児教育における視覚など五感に訴える学習経験の大切さというものにすごく注目しています。こうした幼児教育で学んだものを小学校でも継続して学び続け、西脇市の9年間の義務教育でしっかり身につけることで、世界に羽ばたくような科学者、芸術家といった人材を育成できるよう、いろんな学びの経験を今の子どもたちに届けて欲しいと強く願っています。

◎教育長

その他の項目について、いくつかの視点で協議をいただきました。こうした視点も加えて、判断材料としていただきたいと思います。

また、統合の機会にそれがこれからどう繋がっていくのかということを確認しました。

これは設問項目ではないですが、保護者の方、地域の方のアンケートの設問でいうと7番目ですが、この統合によって一定の学習集団が確保されることで期待されることは何ですかという問いがありました。その上位に入りました考え方の中には、やはり多くの子どもの集団が確保されることによって、多様な考え方や意見に触れる機会をふやすことを期待したい。それから、集団での行動の機会が増えることに期待をしたい。それから、社会性やコミュニケーションの能力の向上を期待したい。それから、学校行事の活性化が図ればよいという思い。良い意味での、競争心、向上心を鍛えて欲しいというようなご意見、学習意欲で学力の向上につなげて欲しいというご意見、こういったところが多い項目として、ご意見をいただいた部分です。

こういう指標を大事にしながら、議論を進めていくということ、ここで確認をいただいたということでもあります。

それでは資料に戻りますが、前回に引き続いて11番からスタートしたこの資料であります。その他以降の部分で、統合懇談会、それぞれの中学校ごとに、敷地内環境、敷地外環境、様々なテーマ、そして委員の方々から出していただきましたテーマに関して、協議をいただいて、発表いただきました。21番、統合懇談会全体につきまして、オンラインの傍聴になったわけですが、何かお感じになったことがありましたら、発言をお願いします。

○委員

統合懇談会ですけれども3回目以降、ほぼ全て拝見しまして、施設の見学もしました。指導訪問で訪問したときは視点がまた全然違いました。1回ではわかりにくく、私自身も敷地外を自分の車で走ってみたり、

通学路も見た上で、フリーディスカッションやアンケートを見て、皆さんが気にされていることも参考になりました。

特に通学路はわかりにくかったので、実際西脇東中学校から駅までのルートや、黒田庄中学校の西側の通路、県道なども見て回り、危険な箇所をはじめ通学路の現状が分かってよかったと思います。

◎教育長

両方の施設見学を懇談会の委員の方と一緒に回ったり、授業をしているときに訪問いただいて、施設の中を確認いただいた機会を踏まえてのご意見であったと思います。

他、いかがでしょうか。

○委員

今の意向調査と話は変わりますが、部活動の地域移行のことで、他市町のケースはどういう状況なのかを知りたいと思ったので教えていただけますでしょうか。

○事務局

他の市町も全国的に部活の地域移行というところで動いていますが、モデル事業として進んでいるところは、いくつか聞いています。しかし、さらにその先にある、実際に本格移行するのにいろんな課題があります。そういった課題をどのように解決していくかを、どの市町も悩んでいます。

◎教育長

スムーズに、どんどん地域へ移行していっているところが少ない。まだまだ部活の受け皿を確保するのにどの市町も取り組まれているという状況でしょうか。

○委員

部活移行についてもう一度確認なんですけれども、土日の移行は何年からということをはっきり教えていただきたい。

○事務局

まだ検討委員会で検討いただいているところですので決定はしておりません。ですが1つの案として令和9年度の総合体育大会や最後の大会が終わった後、休日から移行していきたいと思っています。

◎教育長

今スライドに出ています。まだ決定ではありませんが、国がこの期間で推進を提案しているようですので、それに間に合うようにとは思っていますが、受け皿となる地域の問題もありますので、その辺りはこれからの調整になると思います。

○委員

アンケート調査で、2拠点化のことを書かれているご意見がすごく多かったようにお見受けしています。とりあえず、3拠点、あと2拠点ということで、できるだけ早く準備会議はしていただいて、こういった形になるのかをしっかりと示していただきたいと思っています。

○教育長

それは検証を踏まえてということになりますか。それともいきなり2拠点ということになりますか。

○委員

検証を踏まえてです。今後、2拠点で小中一貫まで踏まえてというご意見もたくさんありますので、2拠点化も一緒に考えながら、今回のことも進めていただきたいと思います。3拠点の先の2拠点化という形です。その辺のことも一緒に含めて、今後検討していただきたいなと思っています。

◎教育長

統合懇談会の中でのそういう意見もありますし、その次の項目としてこの資料にある地域意向調査の中のご意見としての2拠点化というご意見もありました。

今2拠点化の話が出ております。この2拠点化に関して、意見交換ができましたらと思いますので、21番の統合懇談会でもありました22番の地域意向調査の自由意見の中にもそういう意見がありました。この部分についてしばらく時間をとって協議をしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○委員

統合懇談会であっても、地域意向調査でも、どちらでも2拠点の話が盛んに出ていましたので、当然考えていかなければいけないと思っています。

ただ、人口推移の不透明さや、私が1番気にする教育制度が、もしかしたらこのままでは成り行かない懸念もあり、地域で色々な問題が続出しておいたり、DXのことなど、様々な問題にある程度見通しがついてきたときに、大規模な2拠点化、その先に1拠点があるのかどうかも含めて、考えていく必要があるのかなと思っています。今しばらく冷静に、数字やいろんなものを見極めていく必要があるのではないと感じております。

◎教育長

他いかがでしょうか。

○委員

2拠点化したときに、どこに建てるのかという問題が出てくると思っています。建物を建てるのに、来年ここにすぐ建てるというわけにはいかず、現実的な話をしたらコンサルが入って、用地選定をして、そこから計画を立てて、議会に話を通したりといった流れを考えると、数年というのが現実的な話だと思います。今予定されている検証の時期に合わせて、あらかじめ動くことは、今すぐに考えても遅くはないのかなと思います。今の時点の3拠点化は早めたほうが良いと当然考えているんですけども、2拠点化についても考えていかないといけないと思います。

○委員

私も2拠点化が良いのではないかと考えた時期もありました。しかしコスト面のことに関して、今建てたとしても、子どもの人数が急激に減っている状況なので、大きい校舎を建てても、すぐに教室が余るといった状況になれば、適正化にはならないのかではないかと思っています。ゆくゆくは2拠点化も考えていかなければいけないと思いますが、子どものこと、またコストのことを考えても3拠点を早くしていった方がよいのかなと考えます。そのうえで2拠点化の考え方も同時に進めていった方がよいと思います。

○委員

時代の流れで、私たちが思うよりも早い段階でいろんなことが変わっていくと思うので、その時に一番ふさわしい方法を考えて、進めていただきたいと思います。

◎教育長

いろんな状況の変化をもう少し見る必要があるのではないかとのご意見でした。人口推移なども、この最近の数年前までと、直近の1年2年では状況も変わっているようです。

この問題もいろいろなところで意見として出てきている部分です。そういうものをどのように捉えておられるかについてお聞きしたい部分がありました。この2拠点化の問題についてはこれでよろしいでしょうか。

他何かこの点について、お伝えいただくようなことがありましたらお願いします。

それではもう1つ、先ほどの22番、この地域意向調査を実施した中で、設問の8というのがありまして、地域意向調査の自由意見というところに、いろんな意見が記載された資料も配布をしてあります。先ほどの2拠点化も含めての意見もありましたし、その他の地域の声としていろんな意見もありました。

全体を通してであります。この自由意見を確認された中で、これからの判断に向かうにあたって、新たに理解をされたところや、感想などがありましたら、ここで一緒に挙げていただければと思います。新しい視点でも結構かと思しますのでいかがでしょうか。

○委員

私は教育振興基本計画の理念の重点目標2に書いてあるように、西脇市がまるごとつながり支え合う教育の推進というところで、今回のことは西脇市全体で考えることですので、子どもたちも見ていますし、そういった意味で、今回のことについてみんながよかったと言える結果になるように考えたいと思います。

◎教育長

子どもが大人の姿を見ているなど、自由意見の中にあつたように思います。そういったコメントもありました。全体を通して、こんな対応が望まれるのではないかということについてのお考えがありましたらお願いします。

○委員

先ほどの委員と同じ内容になりますが、地域の枠組みを超えて、市全体でどのように考えていくかということを中心に、1つ1つ発言し、決めていきたいなという気持ちでいます。

いろいろな地域の、個々の問題はもちろんたくさんあると思いますが、今回、いろんな意見を読ませていただいて、自分自身気が付いていなかったこともたくさん発見することもできました。そういう意味では、その部分も含めて乗り越えていけるように、みんな協力し合っていたらなというふうに感じております。

◎教育長

懇談会での資料やアンケートなどいろんなものが、今回の協議の中で、理解ができたというようなご意見がありました。

懇談会に参加された委員の方々への各回のアンケートの中にも、昨年の説明でいろいろと混乱もありましたが、そのときと比べると非常に理解ができたというコメントも、懇談会の委員の中から出てきたように思います。

これだけではなく、私たちの地域の学校を残してほしいという意見もありましたが、他の委員で例えばこういうふうなことを大事にして、これからの判断・決定・準備などについて進めてほしいという思いがありましたら、おっしゃっていただけますでしょうか。

○委員

アンケートの内容を見て、委員がおっしゃったように、私たちが本当に気づいていないことがたくさんあって、黒田庄中学校のいいところ、西脇東中学校のいいところ、他にもいろいろありました。アンケートにもありましたが、子どもファーストで、それに関わる先生のことも考えていただいて、両者を中心に据えて進めていただきたいと思います。私もそれを踏まえて、考えさせていただいております。

◎教育長

非常に大切な判断ということになりますし、教育委員の皆様にも、いろんな思い、逆に責任など、そういうものも十分に、感じていただいているところであると思います。

私の感想になりますが、本当にいろんな意見がありました。統合に反対という意見もありますし、なぜもっと早くこの統合を進めてもらえないのかとか、子どもにとって大切な時間がそれだけ後ろへずれていくのではないかというご意見、また、こういう方法で、もう少し地域に学校を残し続けて欲しいというような意見などさまざまでした。学校再編という事業は、これから初めて西脇市が経験します。それぞれの校区に学校があって当然であるという認識が覆る。それぞれの校区で同じ学校数が維持されてきた中で、地域の身近な学校が、生徒数の現状についてお伝えしたときに、地域の方が驚かれることが何回かありました。

私たちが知っているときとは全然人数が違ってきているということを知っていただくと、学校再編について市全体で考えていただきたいと思います。

いろんな意見を出していただくことで参考になりました。教育委員の皆さんと同じであると思っています。

こうした意見をぜひ参考に、これからの作業を進めていただければと思います。

前回のもも含めてになりますが、全体を通して何か付け加えておきたい意見とか感想等がございましたら、今、いただければと思いますがいかがでしょうか。

○委員

今日いろいろな各委員さんからのご意見をお聞きして、自分の中では、大体の意見がまとまりつつあるのですが、もう少し、今日の意見を踏まえて考えたいという思いもありまして、今日この後採決に移られる予定なのではないでしょうか。皆さんはどうお考えですか。

○委員

私も今日皆さんのご意見をお聞きしたり、パワーポイントの説明も見

たりして、もう一度しっかり考え直したいなという気持ちでおります。

◎教育長

他の委員方はどのような思いでしょうか。

○委員

今日統合校をどちらにするという結論については、少し検討させていただいて、先ほどお二人が仰られたような形で合議により決めたいと思います。

○委員

自分の中で1つ1つ、決めていっておりますが、最終的にもう一度見直したいなと思っておりました。なので、今日の決断については、もう一度考えさせていただければありがたいと思っております。

○委員

時間的な問題がどんどん迫ってきていると思います。その点を考慮せずに発言してしまいましたが、大丈夫でしょうか。

◎教育長

もう一度会議を設けるということになりますと、委員の方が判断するための期間としてどれくらい必要とされますか。

○委員

1週間ぐらい欲しいかなと。

◎教育長

1週間という提案がありましたが、他の3名の委員の方々はいかがですか。

○委員

あまり伸ばすわけにもいかないと思いますので、1週間ほどいただければ、結論が固まると思います。私個人としてはそれぐらいいただければありがたいです。

○委員

私も1週間から10日の間に、もう一度いろんな資料を見て、自分にとって最善の答えを考えたいと思います。

◎教育長

あと1週間、それ以上となると10日ということですが、それでよろしいでしょうか。事務局から1週間か10日後の日程について提案できますか。

○事務局

今日が30日です。1週間から10日ほどと委員さんからご意見いただきましたので、1週間とすると、11月の6日、7日あたり。10日とすれば、

翌週の11日、12日ぐらいになろうかと思います。教育委員さんのご都合が合う日で調整するしかございませんので、この場でもし決めるのであれば、日程調整していただければありがたいところでございますが、いかがでしょうか。

◎教育長

11月の6日、7日あたりから、11日、12日あたりぐらいということですが、11月は大丈夫ですか。11日の午後について、事務局は大丈夫ですか。

○事務局

事務局としては大丈夫でございます。ただ場所が未定でして、場所については調整をして、後日連絡をします。

○教育長

11月11日の午後であれば、大丈夫ということでありませう。場所は今の場で確定ができないとのことなのですが、市役所内で可能ですかそれとも、違う場所に移ることはありますか。

○事務局

基本的にはこの庁舎内で考えております。また確定しましたら告示を出します。インターネットでも掲載しますし、当然委員さんには通知はさせていただくこととなります。

◎教育長

それではよろしいでしょうか。今日、協議した内容を記録・整理をした中で、最終の判断に向けての資料ということで、追加の意見交換の部分は、提案できるのではないかと思います。日程については11月11日、時間はいつにしますか。

○事務局

午前中は学校の指導訪問があるということですので、委員のご都合もありませんが、よければ今日と同じ2時からさせていただきたいのですが、よろしいでしょうか。ご協議いただければと思います。

◎教育長

そうしましたら今日同様午後2時を想定して大丈夫でしょうか。それでは確認になりますが、11月11日の午後2時から、場所は市役所の中の会議室ということで、後日、ホームページに掲載をして、周知すること、委員さんには直接連絡を入れて、確認しますということですね。

今日、いろんな観点や意見をいただきました。それから教育のソフト面の話も、いろいろ出していただきました。

そういったことを踏まえて、考えをきちんと整理をいただきまして、

次回の開催日に、臨んでいただいて、統合校を決定させていただきたい
と思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

それではここまで慎重に協議をいただきまして、ありがとうございました。
これをもちまして、今日の臨時教育委員会を閉会とさせていただきます。
ありがとうございました。

————— 閉 会 —————